

おお大勝利

平成 25 年度山東サッカー部報第 13 号 (7 月 18 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

山形中央Bに惜敗も光明あり

7月14日(日)Y2Aリーグ第九節の山形中央B戦が山形中央サッカー場にて行われました。本節の相手はホーム山形中央B。前回の対戦では勝利していますが、あれから山東の選手の構成が若返ったので、前回の対戦は全く参考にならない。そして同時に、山形中央Bもここ数節1、2年主体に若返り素晴らしい戦いを見せている。現在このリーグでトップを走っていますが、日大山形Bに勝利した前節を見てその理由がうなずけました。速い選手、上手い選手、頑張る選手といろいろな個性が食欲にプレーする点でつながっている。「良いチームだな」というのが率直な感想。対する山東は、前節、新チーム初戦を戦い、「まだまだだな」という当たり前と言ったら当たり前の感想をもちました。

さて、当日会場には後藤報道局長はいつもの通り、そして前節いらっしやらなかった清野OB会会長も元気に駆けつけてくださる。「会長お元気そうで」と声をかけると、「**うん、いい試合観ると元気になるんだよ**」といつもの会長節。今日はいいい試合をお見せできるか、不安の中キックオフ。

試合が始まると、静かな立ち上がり。山形中央Bは前節、日大山形B戦の時に見せたようなエネルギッシュさが無い。前節は相手がライバルチームということもあり気合が入っていたものの、今節は格下相手なのでまずは様子見か。ならば相手がゲームに入る前に攻勢に出ようか・・・というのは願望でしかない。山東は最終ラインが安定しており、中央Bに良い形でフィニッシュを打たせていないものの、かといってチャンスもなかなか作りだせない、そんな前半。この試合、県総体にも先発出場した1年生CDFタツル(OBヒロアキ弟)が故障のため出場しておらず、最終ラインがどうなるのか心配されましたが、前半見る限り、その「穴」を補って余りある働きを**2年生CDFアカガワさん**がしている。これは本当に驚きました。対人プレー(競り合い)において力強さがあったり、縦に突進した時に迫力があるのは前からわかっていましたが、**この試合は対人において強さだけでなく冷静さも感じられる**。それでいて！**フィールドにおいても冷静かつクレバー**で、これまでの不安定さからすると信じられないパフォーマンス。**いつもならアカガワさんが最終ラインでボールをもつだけでハラハラしていたのですが、この試合はまさに別人**。①好調だったのか、②成長したのか、③何かが乗り移ったのか、④新チームになっての自覚か、⑤ウスバの重圧が取れて伸び伸びプレーできているのか、よくわかりませんが、②だったらこんなにチームにとって好材料はない(⑤は余計でした!)。最終ライン初先発の**1年CDFシャモジことコウタロウ¹**と、**1年左SBサッチモことルイ**も、中学生を思わせる甘いプレーが散見されますが、経験不足を考えれば上出来。**ことにシャモジは時間が過ぎるごとにパフォーマンスが上がった**ような。これからの伸び代の大きさを感じさせました。**右SBヨウタ**はいつもながら

¹ 山東サッカー部はこの名前に縁があるようです。

クレバーなプレー。左を破られることはあっても、試合を通して右はほとんど破られませんでした。とまあ、珍しく手放し(?)で最終ラインを褒めました。前半、山東ゴールから見て左からフワリとセンターリングを上げられ、中央で選手が競るも誰もボールを触れず、流れたボールがそのまま山東ゴール右に吸い込まれ、失点。確かにこういうボール、難しいんです。左からのセンターリングは左足で蹴られており、山東ゴール(のファーサイド)に向かって巻いてくるボール。誰もゴール前にいなければGKは楽々キャッチできるものの、ゴール前で選手が競り合っていると、ヘディングシュートに備えて、ボールの軌道に入るわけにはいかない。ただですね、GKケツンことオオノには伝えたのですが、ボールがフワリという緩いボールだったので、ゴール中央からボールが流れてからでも反応してほしかった！ 次への課題ですね。前半0-1。

後半もCDFアカガワを中心に最終ラインは安定。山形中央Bに崩されそうになるもののフリーでフィニッシュされたシーンはあまりなかったですし、サイドから切り込まれたシーンでもGKケツンの左手一本(右手一本?)の上手いシュートストップがあり、無失点で乗り切ること成功。**逆に後半は大チャンスの際は山東の方が作ったのではないかとと思われる。特に右サイドハーフでレスラーことシュウタロウが途中出場すると、猪突猛進とばかりに、山形中央B左SBがオーバーラップして空けている(山東から見て)右サイドを駆け上がり、チャンスメイク。止める・蹴るはまだまだ稚拙ですが、カウンターでの迫力は瞠目に値する。しかし、結局ネットを揺らすことができず、0-1の敗戦。**

山形中央Bのスペースを使ったダイレクトな攻撃には適切なラインコントロールによりうまく対応したと思いますが、**一旦FWに当ててMFが前向きで駆け上がる丁寧な攻撃には苦しめられました。**内容的には良かった後半も、山形中央Bの攻撃に対して大きくクリアするだけで精一杯、という時間がありました。「当てて動いてもう一度もらって」という関わり続けるサッカーは山東も見習ってほしいと思いました(解散時のミーティングで選手からそういう反省が出ていました)。ともかく、負けはしましたが、戦前の予想から比べると大善戦したといえるでしょう。ことにアカガワさんのパフォーマンスは鮮烈な印象を与えました。次の試合で真価が試されますね。シャモジとサッチモという初先発の1年生も及第点の活躍。今後に期待が持てます。**出場できなかった1、2年生も負けてはいられませんよ。**

次節も、応援よろしくお願いします。

7月20日(土) Y2A 第10節 VS 日大山形B @天童第二(人工芝) 9:30~

3年生引退そして新キャプテン決定

7月10日(水)放課後、6月29日の鶴東戦にて引退することとなった3年生諸君と1・2年生が校舎内の一画に集まり、引退式が開催されました。3年生は自分の活動の総括・後輩へのメッセージを思い思いに語っていました。

サキク「サッカー部に入って本当に良かった。入部当初意識の低いまま活動に参加し、時間を無駄にしたことがもったいなかった。特に1年生は今から遠慮せずやってほしい」

マサノブ「怪我しないこと、自分のポジションを見つけること」

ケーシ「一度持病で退部したが復帰したいと思ったとき、たまたま相談したヨシタカが真剣に相談に乗ってくれてうれしかった」

チクテツ「どんな形でもいいから前線の選手はゴールを決めてほしい、つらいときこそそれ

を楽しむ行動・姿勢が重要」

ユーダイ「オフザピッチの振る舞い（挨拶・マナー）を学び、良い仲間を得た」

サフちゃん「どんな小さなことでもいいから自分で自分を褒めて、サッカーを楽しんでほしい」

ウスバ「自主練習が重要、自分は自主連で左足が使えるようになり、よりサッカーが楽しくなった」

リク「1年生の頃はミスして怒られたくないという消極的な気持ちでプレーすることが多かったが、自信をもってプレーしたら色々できた、メンタルが重要」

コテツ「怪我してもやれることを最大限やってほしい、新チームは人数が少ない分すぐAで出れる。機会を大切に」

クサジマ「なかなかAチームで上手くプレーできなかったが、映像でドリブルを研究してイメージをもってプレーし、向上心をもって練習に取り組んだらうまくできた」

ナラオカ「試合を想定した練習をすることが重要、自分は練習のための練習になってしまうことがあった、冬場の雪上サッカーと体育館練習を大切にしてほしい」

イクト「みんなが頑張っていないときに密かに頑張ることを心がけた、新庄と山形のレベル差を埋めることが最初大変だった」

ヒデアキ「一個上の先輩から厳しく育てられたが、そのように先輩は後輩にしっかり感情をぶつけてもいいと思う。自分は褒められるのは好きだが、やはり怒られた方が伸びると思う」

ミサキ「部活と学校は皆勤賞、部員の頑張りが励みだった。部員はつらくなった時、もっとマネに頼ってもいい」

ケイジュ「ポジション変更に対して前向きにトライしてほしい、自分は体幹トレーニングと自主練習で1対1に強くなったら世界が変わった、練習で盛り上がりバカになることは重要」

イギータ「(練習を指揮する) グランドマネージャーをやったが、練習しながら次のことを考えるのは大変、みんなの協力が必要。自分が指揮した練習の成果を選手がピッチで表すとうれしかった」

ヤグチ「サッカーを楽しんでほしい、一年生のころミスを恐れ、自分のプレーができてはいなかった。怪我をしたときも筋トレ等やれることを頑張ってた」

ヨシタカ「(体を入れてボールを保持する) スクリーンプレーを身につけてから、自信をもってプレーできるようになり世界が変わった。自分のプレーを記憶し反省して、頭を使ってプレーすることが重要。もっと味方のプレーに対して厳しく要求していい」

3年生、本当にお疲れ様！ 県総体は悔しい思いをしたけど、県リーグの最後の試合は素晴らしい試合だったよ！！

また、その引退セレモニーに先立ち、2・3年生の投票により、新キャプテン、新副キャプテン、新グランドマネージャー2名(GM)²が選出されました。**キャプテンはコウタ、副キャプテンはオオノ、GMはクリロンとリンちゃん**となりました。先輩の悔しい思いを受けて、しっかりまとめるように。

² 山東では、日々の練習はGMがメニューを組み、練習を指揮します。顧問も時折自分で練習を指揮して顧問が現在必要と考えている練習をGMに示唆したり、GMなどと連携を図って今後の練習について情報交換しますが、基本練習は選手に任せています。キャプテン、副キャプテンは、一選手として自分の技量向上に専念するとともに選手をまとめる役を担います。練習の指揮はGM、指揮される側のまとめ役はキャプテン(副キャプテン)という役割分担です。

夏の遠征について

今年の夏も、昨年同様、月山にてフィジカルを鍛え、苗場にて、フィジカルとメンタルとサッカーを鍛え直す計画でおります。**月山は7月31日(水)～8月2日(金)まで「月山の宿かしわや」さん(Tel.0237-75-2223)にお世話になり、苗場では「2013 27th NAEBA GREEN CUP」に参加**して参ります(苗場の配宿はまだ)。昨年同様の日程です。秋以降、そして来季を見据える上で夏の強化はとても重要となります。

ご理解とご協力をお願いします。